



無料映画会開催のご案内

私達 NPO法人輝け酒々井まちづくり研究会 が開催致します映画会も今年で6回になります。この間、上映致しました映画は、女性や高齢者が地域を活性化する映画や元気なまちづくりの映画を上映してまいりました。また、去年は後継者不足で米作りが出来ない農家が増える中、都会に就職した娘が父親の死を機会に米造り作りに挑戦し帰農する物語など多彩な分野の映画を無料上映してまいりました。

今年の映画会は、「ぼけますから、よろしくお願いします」という映画を上映致します。この映画は、超高齢化が急速に進行する日本に於いて老々介護の問題が核家族化と相まって大きな問題になっていることを取り上げています。

この映画は、信友直子監督自身の両親が痴呆症になり、この進行を記録した、笑いあり涙ありのドキュメンタリー映画です。この映画は、他人事ではない自己の老いとは何か？家庭とは何か？について問いかけています。

また、信友直子監督自身も乳がんになる中、実家で暮らす95歳の父、87歳の母が繰り広げる日常生活を描いた作品です。一度、ご覧になると勇気が湧きます。ご来場をお待ちしています。

日時：令和元年7月14日 開場 13:00 上映 13:30
会場：酒々井町中央公民館 入場無料



令和元年度も駅フェスを開催します。

私達NPO法人は、皆が支え合い助け合う共助の町づくり活動をおこなっている団体です。酒々井町も、住民の高齢化や生活の孤立化等によって、住民同士の人間関係が希薄になりつつあります。このため地域の一体感をより強固にするため、私達は年間を通して駅フェスの開催、自治会要望によるイベントの開催、地域情報の発信や住民活動団体の活動を広報する「シスイッチ」の発行等を行い、住民相互の交流を活性化させ共助を醸成する活動を行っています。この活動の一つとして今年もJR



酒々井駅西口広場を利用して駅フェスを8月31日(土)に開催します。参加をご希望の住民活動団体の募集と皆様の御来場をお待ちしています。

詳細につきましては、近日中に、ポスターの掲示およびチラシの配布を行いますので、ご確認ください。写真は、過去に実施した駅フェスの模様です。

(右上：喜兵衛号によるコーヒーショップ 左下：Jr. UDによるダンスパフォーマンス)

東 伝 院 (とうでんいん)

洞宗古木山東伝院は前墨から大川戸橋を渡った高崎川の南東部向墨(むこうずみ)にあり、本尊は釈迦牟尼仏です。創建は文明10年(1469年)本佐倉城を築城した千葉介輔胤で 千葉氏と有縁の寺院です。昭和初期には徳富蘇峰等文化人・著名人が度々訪れ、芸術文化の発信地として地域に親しまれてきました。境内には室町時代の下総式板碑や徳富蘇峰の詩碑があり、現在も座禅会・写経会・茶道教室等の講座やイベントを行い、「芸術・文化を発信する禅寺」をテーマに誰もが気軽に立ち寄り、お寺を目指して、是非訪れてみてはいかがでしょうか。



蘇峰詩碑



本堂

明大マンドリン倶楽部コンサートを終えて

平成最後の音楽会、「明大マンドリン倶楽部コンサート in 酒々井」は、ほぼ満席のお客様にお集まりいただき、成功裏に終わることができました。「素晴らしい司会、演奏に青春を思い出しました。選曲、一曲一曲に感激。若々しい力強い演奏、青春時代にタイムスリップしたようで、涙が止まりませんでした。」とアンケートに記入されていました。この感想が、コンサートに来られた方々の最大公約的な感想のようです。「今後も同企画を年に一度は行って欲しい。若い頃を思い出し、感激！ 古賀メロディ最高！ 構成、司会、選曲 good。また酒々井に来て！」等、「再演希望」も多数いただきました。



演奏の様子

このたびのコンサート開催にあたっては、私たちNPO法人「輝け酒々井まちづくり研究会」の活動趣旨をご理解いただき、明大マンドリン倶楽部の皆さんには多くのご協力を戴きました。改めて明大マンドリン倶楽部の皆さんに感謝申し上げますと共に、今後の益々のご活躍をお祈りいたします。

私たち NPO 法人は、次回も酒々井の文化の向上と町民の絆を深める活動として、素晴らしいコンサートの企画を考えていきたいと思っております



ほぼ満席の客席

自治会紹介 その3 墨区自治会

日本一古い町酒々井に、小粒でもピカリ、日本で一番強い絆で結ばれた自治会、こんな紹介がピッタリなのが墨区自治会かと思えます。

総世帯数は100戸前後ながら県指定文化財の獅子舞は、年2回の六所神社の祭りと共に、長い伝統を維持して区民の心を一つに結びつけています。

自治会は区長以下18名の役員によって運営され、健康な区民が総出の年2回の掃除や廃品回収、祭りの準備、獅子舞の練習、祭りの開催、パークゴルフ会、三峯山参拝のバス旅行等、年間の行事は目白押し。区民相互の助け合いに力を添える役割や資金集め活動も含め、献身的に役員が地域に果たす力は伝統の強みでしょうか。



墨区自治会館

役員は区長、副区長と選挙で選出される2年任期の区議員が5名、地域別の7区から毎年輪番で選出される組長7名、前区長と地元選出の町議会議員が勤める顧問4名で構成されている。地元選出の町議会議員が3名というのも自治意識と絆の強さからの賜物だろうか。副区長が翌年は区長を勤めるしきたりとなっており、この仕組みが活発な活動と伝統の維持の要であろうと思われます。高齢化が進み地域での互助の大切さが叫ばれる時代であって、強い絆で結ばれる墨区自治会の在り方は先達となるのではないのでしょうか。



墨六所神社の獅子舞

編集後記

うっとりしい梅雨の季節がやってきました。小雨の中、田圃の脇を歩いていたら、30cmほどに伸びた稲の間をカルガモの親鴨と子鴨7匹がゆったりと泳いでいました。一瞬、うっとりしさを忘れる思いでした。今回の映画会のテーマは「ボケ」ですが、「ボケ」予防のためにも、歩くことは効果がありそうです。まだ残る自然を見つけて歩いてみてはいかがでしょうか。ただ、熱中症には十分気を付けて、水分の補給や暑さ対策をお忘れなく。